カレントトピックス

韓国の理学療法士の実情について

康 徳 龍*

新潟リハビリテーション大学医療学部リハビリテーション学科 助教

〔受付:2014年11月30日〕

キーワード:韓国理学療法士, 高齢社会, 医療機関, 中枢神経系 (CNS), 運動療法

要旨 近年世界的に高齢化が社会問題となっているが、韓国はその中でももっとも急速に高齢社会になると予測されている。社会のニーズにより、韓国の理学療法の理念も変わりつつある。障害による身体機能面の向上が中心だったのが、生活の質の向上や二次的予防に繋がるリハビリに変換してきている。高齢者が増えることに理学療法士の養成校も増加し、15年前、年間の理学療法士輩出者数は900人だったのに対し2012年は約3000人に上る。韓国の人口は大都会に集中し人口密度も非常に高い。それに伴い理学療法士も人口密度が高いところに集中する傾向にある。韓国理学療法士の大きな特徴は中枢神経系(CNS: Central Nervous System)患者様を治療するのに、CNS 治療教育を120時間以上受けた理学療法士は加算をつけることができ高額の請求ができる。これはどの国にも見られない制度である。また、2014年11月から理学療法士は免許申告をしなければいけなくなる。3年間試行した後、正式に法律が施行されることになっている。日本とは異なる理学療法士の実情として、日本は災害が多いため災害時の理学療法も開発中であり、研修会も開催している。一方、韓国は軍人の障害防止や安全のための軍人理学療法士も最近話題になっている。また、日韓理学療法士の共通の事情としてはWCPT 加盟国のうち、先進国の中で開業権がないのは日本と韓国だけである。韓国の理学療法は今後も社会の変化やニーズにより発展することが期待される。

1. 韓国の高齢化

韓国は近年経済発展により世界に目を向けるようになった.2018年はピョンチャン冬季オリンピックが開催される.スポーツ、映画、半導体産業などを通じて世界10番目の経済大国に成長した.過去には大変厳しい時期もあった.1950年の韓国戦争が起きて多くの人

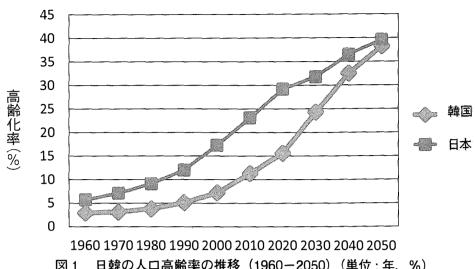
が障害を持つことになった.そのころ1959年韓国で初めて理学療法が紹介された.当時は戦争により戦争孤児や障害者が多く,貧困により病院に行けない障害者が多くいた.今は病院も沢山でき,国民健康保険など国の制度もできているので以前とは比べられないほど医療も発展してきた.しかし韓国は現在高齢化社会になり、高齢化が社会問題になっている.その高齢化社

新潟リハビリテーション大学

〒958-0053 新潟県村上市上の山2-16

Tel: 0254 - 56 - 8292 Fax: 0254 - 56 - 8291 E-mail: kang@nur.ac.jp

^{*} Corresponding author:



日韓の人口高齢率の推移(1960-2050)(単位:年.%)

会は将来にわたり大きな課題となっている。図1は韓 国と日本の高齢率をグラフ化したものであるが、1960 年はまだ日本も高齢化社会になっておらず、1970年に 高齢者が7%になり高齢化社会になった。韓国は2000 年になってようやく高齢化社会になったが、その速度 は世界でも類をみない速さである.

表1のように高齢化の堆移をみると、日本は7%か ら14%になる年数が24年かかった。フランスは115年、 スウェーデンは85年、ドイツは40年、イギリスは47年 かかったので日本は非常に短い期間で高齢社会になっ た. しかしながら、韓国はそれより早い18年で高齢社 会になると予測されている. さらに超高齢社会になる 期間は、日本は12年かかると予測されているが、韓国 は8年という非常に短い期間でなると予測されてい る. 韓国は高齢化社会に理学療法士がどう向き合うべ きか大きな課題である.

2 理学療法士の資格と合格基準及び教科課程

韓国

日本

① 資格:韓国の理学療法士も日本と同様、国家資格 である. 資格を取るためには理学療法学を専攻する

1970年

総合大学あるいは短期大学を卒業する必要がある. また,外国人でも国家試験を受ける資格はあるが. ただし、保健福祉大臣の認める外国で理学療法を専 攻し韓国と同等な教育課程を履修したうえ、外国の 理学療法士の免許を所持しているものが国家試験を 受験することができる。2012年韓国の理学療法士4 年制大学は35校、3年生短期大学は40校があり、卒 業後の大学院への進学率は約5%である.

② 合格基準及び合格統計

全ての科目合計点数の60%以上を取らなければい けない. また各科目とも40%以上得点をしなければ ならない、最近の受験者は、年間3500人程度であ る. 合格率は平均約85%である. 2014年現在. 韓国 の理学療法士は約5万人である。15年前は年間約 900人輩出されていたが、理学療法士養成校が急増 したため、最近は年間約3000人が理学療法士の有資 格者となる.

③ 理学療法学科の教科課程

韓国の理学療法士養成学校は4年制大学と3年生 短期大学があるが、教科科目は表2で示したように

到達年(高齢率)			所要年数	
高齢化社会	高齢 社会	超高齢社会	7 %→ 14%	14%→ 20%
(7%)	(14%)	(20%)		
2000 年	2018 年	2026 年	18 年	8 年

2006 年

日韓の高齢化速度 表 1

資料:統計庁「2010 高齢者統計」

12 年

24 年

1994 年

	大学(4年制) 単位	短期大学(3年生) 単位	
卒業単位	140	120	
教養/専攻	25/115	15/105	
臨床実習	1 学期/15	8 週/10	
履修科目	64 科目以上	48 科目以上	
老人疾患関連	20 科目/60	15 科目/45	
老人治療関連	9 科目/27	6科目/18	
障害関連	12 科目/36 単位以上	8科目/24 単位以上	

表 2 理学療法学科の教育課程

教養科目や臨床実習が4年生大学の方が多い.

3. 韓国の医療機関分類

韓国の医療機関は主に外来患者を対象とする医院がある。病院はベッド数が30床以上のある医療機関である。総合病院はベッド数が100床以上ある医療機関であり、また、診療科目が7~9個以上があり、診療科目ごとに専門医が在中している。上級総合病院は20個以上の診療科目があり、診療科目ごとに専門医が在中し、保健福祉部(日本の厚労省)より認める人材・施設・装備が設置されている。歴史が浅い療養病院は療養患者 30人以上を受容しており、主に長期療養が目的である。

4. 韓国の人口の分布及び理学療法士分布

韓国の地域別現況を図2に示した. 韓国の人口は大都市に集中していることが分かる. その中でもソウルの衛生都市であるキョンギはブサンのおよそ4倍近く

人口が集中している。キョンギはソウルに通勤している人が多いため、流動人口がもっとも多いと思われる

理学療法士の地域別分布を見ると、韓国の人口分布 と同様、理学療法士も大都市に集中している(図3参 照)。

5. 理学療法士の就職先

病院、医院、リハビリ医院、医療院、保健所、社会福祉施設、スポーツセンター、老人施設、児童、障害者福祉施設などがある。図4で示すとおり、韓国では医療費を国の機関である医療公団に請求する。理学療法によって発生する医療費の比率は、療養病院で6.4%、上級総合病院では0.7%である。これは、上級総合病院での請求のほとんどが手術や入院費用であるからである。理学療法の請求が少ないのは、下位病院への転院を誘導するためである。

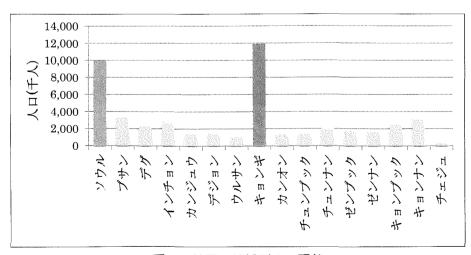


図2 韓国の地域別人口現状

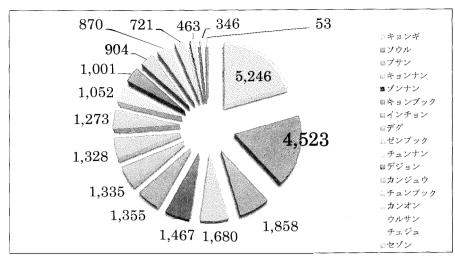


図3 2012年全国の理学療法士の分布

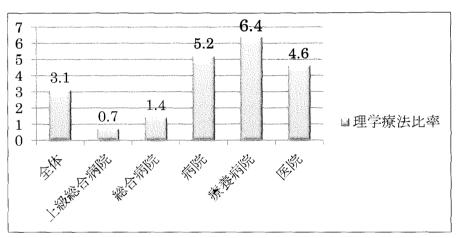


図4 医療機関別のリハビリ費用の比率

6. 専門教育により報酬加算

理学療法士の免許取得後、120時間以上の中枢神経系(CNS: Central Nervous System)の専門教育を履修した者は国家認定の報酬加算が認められる。1日に12~14人まで加算が可能となる。CNS専門治療の種類は、BOBATH治療、PNF治療、Vojta治療などである。運動器系の患者には基本治療である熱、電気、超音波、水治療、レーザー、牽引などの物理療法、筋機能と関節機能障害へのさまざまな運動、姿勢矯正などの単純運動療法を10分以上実施する。複合運動療法は筋力増強運動と機能訓練などを30分以上実施する。運動器系の治療は報酬加算がつかない。

7. 免許更新制度

2014年11月より医療技師等免許更新制度の試行が始まった。3年間の試行期間を経ると理学療法士,作業

療法士,臨床病理師,放射線技師,歯科技工師,歯科衛生師,医務記録師,眼鏡師は免許発給後から3年毎に各協会に就業状況などを報告しなければならなくなる。また,年間8時間以上の補習教育が義務化され、履修を申告しなければ申告するまで免許が停止される。免許更新制度が施行されることにより,韓国の理学療法士の手技や研究活動がより活発になると思われる。

8. 軍の理学療法士

韓国の軍は義務化になっているため、18歳以上の心身が健康な男性であれば、一定期間だれもが軍に入隊しなければならない。軍は陸軍、海軍、空軍などがあるが、軍の生活での運動能力の向上や負傷を早期に回復させ訓練に参加させる必要があるため、理学療法士免許を持っている人は選抜され軍隊での理学療法士として軍の生活ができる。